2026 年 8 月 7 日

各　　位

会社名　東洋合成工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　木村 有仁
（コード番号:4970　東証スタンダード市場）
問合せ先　取締役 経営企画部長　渡瀬 夏生
（電話番号:03－5822－6170）

業績予想の修正に関するお知らせ

2026 年 5 月 8 日に公表いたしました 2027 年 3 月期第 2 四半期、ならびに 2027 年 3 月期通期の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

2027 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	23,000	2,700	2,500	1,700	214.19
今回修正予想（B）	24,500	3,500	3,400	2,300	289.79
増減額（B－A）	1,500	800	900	600	―
増減率（％）	6.5	29.6	36.0	35.3	―
(ご参考)前第２四半期実績	19,349	937	831	570	71.83

2027 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	47,500	5,000	4,600	3,200	403.19
今回修正予想（B）	50,000	5,800	5,500	3,800	478.79
増減額（B－A）	2,500	800	900	600	―
増減率（％）	5.3	16.0	19.6	18.8	―
（ご参考）前期実績	41,956	3,668	3,592	2,692	339.26

修正の理由

第2四半期累計期間は、半導体市場の急成長を背景に、感光性材料および高純度溶剤の販売が、期初想定を上回って推移しております。利益面では、一過性の増益要因となる前期増産の在庫影響約5億円に加え、販売の増加、さらに第2四半期に原燃料高騰による在庫評価益約4億円の計上を見込み、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

通期業績予想は、第2四半期累計期間の上方修正に加え、下期も販売拡大の継続を見込み、売上高を上方修正しました。一方利益面では、下期には上記のような一過性増益要因が無く、さらに原燃料高騰のPL影響が顕在化することに加え、増産に向けた固定費上昇も見込むことから、前回発表予想を据え置いております。

今後、業績動向を踏まえ、通期業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

以　上